

農業問題

問 奈良井地籍公園化計画の対策は

答 早急に対策を講ずるべきだと考える



下川正剛議員

【奈良井の公園化計画】

問 圃場整備を実施したが、地盤が軟弱なため耕作できない神城奈良井の対策として、平成12年にまちづくり総合事業を取り入れて、公園化することを決定したと聞いています。この事業は、大出公園に引き続いて着工する計画で、地元の説明会を開催し、大きな期待を寄せていました。ところが、現在まで方向性が全く見えず、解決の先送りしか思えない対応が続いています。30年間も耕作できず、償還金を払い続けてきた地権者、更に期待をして

いる地元に対してしっかり経過を説明し、耕作できない不耕作地をどうすべきか、県などと協議をして早急な解決を図るべきだと思えますが如何ですか。

村長

圃場整備事業完了時から、湿田対策として公園整備事業が論じられ数年が経過し、その間地権者の皆様には、償還金・補完工事の負担金などのご負担及びご心労を思うと早急に対策を講ずるべきと考えています。今後は、当該地区が土地改良事業施行地区・農振農用地地区であるので、県や国の農政関係部署と調整・連携が必要であり、観光農政課農政係・土地改良係を窓口として検討させていただきます。

【高規格道路】

問

地域高規格道路松本糸魚川連絡道路の早期

実現は、経済効果・救急医療・騒音等の面からも大北地域の長年の悲願です。現在、村は県からの情報をどのように把握しているか伺います。

村長

本日までルート案は示されていません。しかし、県では本年の秋までにはルートを決する予定であり、現在ルート案の発表方法等を検討しているようです。

【観光の状況】

問

観光局長の公募について詳細を伺います。

村長

公募者29名（村内5名、県内7名、県外17名）の内、広い人脈、観光に對しての考えが明確であり、また民間で培われた経験がある庵豊（いおりゆたか）氏を観光局長に任命しました。

問

長野経済研究所に村の観光の現状、今後の観光のあり方などを検証してもらったが、今後どのように取り組んでいきますか。

村長

長野経済研究所による検証結果を十分尊重し、観光局の事業の方向性等計画を実現するための戦略が求められており、会員との連携強化・事業の効率性等を図ります。



地盤が軟弱な神城奈良井地籍